

令和6年度策定 高橋校区社協行動計画書

高橋校区社会福祉協議会

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
世代を超えてみんなでつながる『高橋町』	みんなが主役・交流で繋がる絆づくり	高齢者	高齢者世帯、単身高齢世帯の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯数が少なく、高齢化率が高い ・高齢者が気軽に集える場所がない ・交流等再開したいが人がいない ・地域行事を開催するにも担い手不足である ・地域の担い手が高齢化しており、一人何役もこなしている ・スーパーが遠く不便 ・買い物にいくにしろ歩道が狭く歩きにくい ・低所得世帯において生活に困窮している世帯もある ・民生委員・児童委員が一人欠員している 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆で声をかけあい、健康寿命を延ばしていく ・健康で長生きできるよう、若い世代から高齢者まで健康について考える機会をつくる ・1町内だけでなく2町内のサロンも立ち上げたい ・1町内と2町内の交流を図っていきたい ・月見会や花見会など地域イベントを通して、参加した子どもの保護者等と顔見知りになり、今後の役員を担って頂けるようなきっかけ作りを継続していく ・西部いきいき作業所や陶芸スペースの活用を通して生きがいづくりを行う ・買い物サポートカーの利用推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ・2町内サロン立ち上げを検討していく ・サロン活動や行事等への参加の促し ・声かけや見守り訪問を継続 ・地域イベントにおける担い手の人材発掘 ・買い物困難者に対する買い物サポートカー等の情報提供
			認知症高齢者に対する理解と対応	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に対する知識が乏しく、接し方がわからない ・認知症になる人が今後増える可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本西高校の生徒と小学生が高齢者（認知症含む）について学ぶ場の提供や交流を継続して行う ・認知症について正しく理解し、みんなで支え合う関係を築く ・チームオレンジの拡充を図っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や高校生、小学生に対して認知症センター養成講座を実施、交流を図る。 ・認知症の啓発や声かけを行う
	障がい児・者	障がい児、者に対する理解と対応		<ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対する知識が乏しく、接し方がわからない ・発達障がいが疑われる子もいるが、関り方が分からない ・内部疾患や内部障がいも多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいについて正しく理解するための研修会を実施（ささえりあと障がい者相談支援センターでコラボして実施することも検討） ・就労相談等についても情報を周知することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい（特性やサービス等）について学ぶための研修会の開催
		子ども・子育て	子ども、子育て世帯の見守りと地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減り、現在101名の児童数で、殆どが城山、松尾東校区から通っている ・高橋校区の子ども自体ほとんど見かけないし、子ども会もない ・夏祭りでは子ども向けの防災クイズ等交流を図った ・小学校で子どもも大人も自由に参加できるミニバレー大会がある ・月曜日に英会話教室を西部いきいき作業所で行っている ・小学校の運動会で高橋音頭や綱引き等地域の人と交流できる場がある ・8020推進員が2名おり、学校と連携ができている ・子育てサークル（みつばちクラブ）は城山、池上コミセンで月1回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体や関係機関等との連携した多世代交流イベント（花見の会、月見の会、成人式等）の開催 ・回覧板などを活用し、関係機関や地域団体の情報提供と周知を行う ・高橋町以外の子どもも交流できるイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体や関係機関等との連携した多世代交流イベント（花見の会、月見の会、成人式等）の開催 ・回覧板などを活用した関係機関や地域団体の情報提供と周知
	災害に備え、助け合うまちづくり	災害・防災	防災・災害への備え及び災害時の避難支援	<ul style="list-style-type: none"> ・1町内と2町内では避難の判断が難しい ・避難経路における冠水箇所を把握していない人もいる ・避難場所（高橋小）が狭い ・民生委員・児童委員が要支援者の把握をしているが、欠員の町内もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団独自で要支援者の情報を集めた。これを共有できる仕組みができるべき ・町内会長と消防団で要支援者について情報共有できればいい ・高齢者が避難する際、連絡網等があればいいと思う ・地域の実情に応じた避難訓練を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団のイベントを小学校で行い、保護者も参加頂くことで交流を図る ・消防団と地域関係者で危険個所や要支援者等の情報共有を図る
		地域全体	地域役員の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ人が何役も兼任しており、負担が大きい ・役員も高齢化している ・高橋校区単体では限界もある ・子育て中の役員は忙しく声かけが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等を通して新しい方を地域の役員に入ってもらえるようきっかけづくりを行う ・近隣校区と連携した取り組みや交流を行っていきたい ・祭り等のイベントを行い人との繋がりを増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流のイベント開催 ・だんだら提灯や鯉のぼりイベントをとおして高橋町の魅力を発信する
			空き地・空き家問題	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や空き地が3箇所程ある 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と連携して対応していく ・空き家や空き地について活用の検討を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や空き地の状況を確認していく